



介護職員初任者研修開催のご案内

社会福祉法人協同の苑が、この六甲アイランドの地に誕生して、25年になりました。

25周年を節目に、これまで以上に地域の皆様が安心して暮らし続けられるよう、身近になった家族の高齢化、介護・福祉のニーズへの貢献を目指して、このたび介護職員初任者研修を開催いたします。



介護職員初任者研修とは？

ホームヘルプや介護施設で働くための資格が得られる入門的な研修です。

介護の基本的な知識や技術を学ぶことができ、在宅や介護の仕事にも活かせるスキルが身につきます。

- ◆期間 2019年10月5日(土)～2020年3月7日(土)
※毎週土曜日開催(9:30～16:30)
※講義21日間・現場実習2日間の合計23日間(計132時間)
- ◆会場 RIC グラנקオーレ(講義)・にじの家(実習)
- ◆講師 経験豊かな協同の苑の職員が丁寧に指導いたします
- ◆定員 10名(定員になり次第締め切ります)
- ◆受講料 **20,000円**(テキスト代6,995円含む)

受講申込・お問い合わせ

担当 三宅 (協同の苑 にじの家 東灘区向洋町中3-2-6)

TEL (078)858-6266 (受付時間 月～金 9:00～16:00)

MAIL helper-kouza@kyodo-no-sono.or.jp

介護職員初任者研修・事前説明会のご案内

日程	①2019年8月24日(土) ②2019年8月31日(土)
時間	10:00~10:30
会場	協同の苑にじの家1階会議室 東灘区向洋町中3-2-6
内容	①初任者研修カリキュラム日程表について ②受講に関するお知らせ ③その他
担当	三宅(078)858-6266

事前説明会参加申込書(FAX 専用)

介護職員初任者研修担当 三宅行

お名前	
ご住所	
連絡先	
ご希望日 ○印をお願いします	① 8月24日(土) ② 8月31日(土)
ご希望内容 ○印をお願いします	① 説明会のみ参加 ② 説明会参加と講座申込み ③ 講座のみ申込み
備考欄	

FAX 番号:078-843-5030

《学則》
介護員養成研修課程（通学）

<p>1. 目的</p>	<p>協同の苑が六甲アイランドの地に誕生して25年になりました。 25周年を節目に、これまで以上に地域の皆様が安心して暮らせるよう、身近になった家族の高齢化、介護・福祉へのニーズに貢献できることを目指して、介護職員初任者研修を開催いたします。</p>
<p>2. 事業実施主体事務局 および代表者</p>	<p>社会福祉法人 協同の苑 理事長 四鬼 剛 住所 神戸市東灘区向洋町中3丁目1番地2</p>
<p>3. 研修事業の名称</p>	<p>社会福祉法人協同の苑 主催 介護職員初任者研修コース（通学）</p>
<p>4. 研修事業の実施期間</p>	<p>研修事業の実施期間 <u>令和元年10月 5日 ～ 令和2年 3月 7日</u></p> <p>補講日 日程は研修期間内で相談の上決定します。 （やむを得ない理由で研修の一部を受講できなかった方については補講を行います。欠席は講座・演習の1割まで、それ以上の欠席は修了書を交付できませんのでご注意ください。）</p> <p>修了評価日 令和2年 3月 7日</p> <p>修了評価にて、理解度の高い順にA・B・C・Dの4区分とし、C以上で評価基準を満たしたものと認定する。認定基準（100点を満点評価とする） A=90点以上、B=80点～89点、C=70点～79点、D=70点未満（合格点に満たない場合は補講・再評価を行います。）</p> <p>修了評価補講日 令和2年 3月 7日</p> <p>修了証書交付予定日 令和2年 3月 28日</p>
<p>5. 研修事業の実施場所</p>	<p><講義・演習> 社会福祉法人 協同の苑 R I C グランクオーレ 〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中3-2-2</p> <p>社会福祉法人 協同の苑六甲アイランドにじの家 〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中3-2-6</p>

6. 研修カリキュラム・講師氏名	別紙「介護員養成研修課程（通学）カリキュラム」参照
7. 受講資格及び募集人員	健康な方で神戸市東灘区向洋町周辺に在住している方。 定員：10名（開講必要人数は5名とする）
8. 受講申込手続き及び受講者の決定	<p>① 申込書を提出していただき先着順で受付します。</p> <p>② 申込書を提出された方を対象に事前説明会を開催します。</p> <p>③ 事前説明会では本人確認できる以下いずれかのコピーが必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸籍謄本、戸籍抄本もしくは住民票 ・住民基本台帳 ・在留カード等 ・健康保険証 ・運転免許証 ・パスポート ・年金手帳 ・運転免許証以外の国家資格を有する者についてはその免許証又は登録証 <p>④ 申込書及び必要書類の受付後、令和元年9月10日までに受講料を入金していただいた方を受講生として決定します。</p> <p>⑤ 受講者の決定通知は順次、郵送します。</p>
9. 受講者負担金	<p>受講料：20,000円（テキスト代6,995円、実習費・補講料・保険料含む）</p> <p>その他：講義・演習先までの交通費は受講生の実費負担です。</p>
10. 使用テキスト	<p>一般社団法人 長寿社会開発センター発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職員初任者研修課程テキスト
11. 研修認定の方法	<p>全科目を無欠席、無遅刻、無早退で受講し、修了評価に合格した方を修了者とし、兵庫県へ報告、修了証明書および終了証明書（携帯用）を交付します。</p> <p>なお、やむを得ない理由で研修の一部を受講できなかった方は補講を行います。</p>
12. 欠席ならびに補講	<p>やむを得ない理由で研修の一部を欠席した人には、全研修時間数の概ね1割を限度とし、補講を行います。</p> <p>（1）講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席の代替措置として、講義を録画したDVDによる受講後、レポートを提出していただきます。 <p>（2）実技講習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席は認めません。但し、やむを得ない事情の場合は補習を受けて頂き、規定の演習評価をもって受講とします。

<p>13. 個人情報の取り扱いについて</p>	<p>① 受講生の個人情報は研修関連の連絡等の利用に限り使用します。 ② 研修終了後、修了者名簿を作成し兵庫県に提出します。 ③ 本人の許可なしに第三者に対して個人情報を開示、提供はしません。 ④ 講師および受講生の氏名、住所、電話番号等の問い合わせは一切受け付けません。</p>
<p>14. 研修に対する苦情、要望等の相談窓口</p>	<p>研修事業の苦情・相談窓口 社会福祉法人 協同の苑六甲アイランドにじの家 介護員養成研修担当： 三宅 康平 電話（078）－858－6266</p>
<p>15. 情報開示について</p>	<p>本研修事業については下記のホームページにおいて情報開示します。 ホームページ http://kyodo-no-sono.or.jp</p>
<p>16. 特徴、受講生へのメッセージ等</p>	<p>社会福祉法人協同の苑は、生活協同組合コープこうべが支援してつくられた社会福祉法人です。コープこうべは長年、福祉活動を行ってききましたが、その中で組合員から「特別養護老人ホーム」の開設を要望する声が出てきたことを反映して1993年に誕生しました。</p> <p>協同の苑が大切にしている基本理念は「愛と協同」の思想を基本としています。「愛と協同」のある社会を実現することは、地域共生社会の実現にあります。たとえ介護が必要になっても、障がいがあっても、地域で安心して暮らし続けるためのお手伝いとして、身近になった家族の高齢化、介護・福祉ニーズに貢献できることを目的に介護職員初任者研修を開催します。</p> <p>本研修事業では専任の講師を持たず、介護現場で実務を行う講師が講義や実習指導を行うシステムです。介護現場により近い形式の実習を通じて多くのことが学べると好評です。</p>

***受講時の注意**

各講座を受けるにあたり通学には公共交通機関をご利用下さい。

科目内容（介護職員初任者研修課程カリキュラム表）

実施主体：社会福祉法人 協同の苑

研修名：社会福祉法人協同の苑 介護職員初任者研修コース（通学）

研修期間：令和元年10月5日（土）～令和2年3月7日（土）

科(科目)名	内 容	実施計画	科目番号
(1)職務の理解 (6時間)	①多様なサービスの理解	○介護保険サービス（居宅、施設） ○介護保険外サービス	(1)－①
	②介護職の仕事内容や働く現場の理解	○居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容 ○居宅、施設の実際のサービス提供現場の具体的なイメージ（視聴覚教材の活用、現場職員の体験談、サービス事業所における受講者の選択による実習・見学等） ○ケアプランの位置付けに始まるサービスの提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ・他職種、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携	(1)－②
(2)介護における尊厳の保持・自立支援 (9時間)	①人権と尊厳を支える介護	(1) 人権と尊厳の保持 ○個人としての尊重 ○アドボカシー ○エンパワメントの視点 ○「役割」の実感 ○尊厳のある暮らし ○利用者のプライバシーの保護 (2) ICF ○介護分野におけるICF (3) QOL ○QOLの考え方 ○生活の質 (4) ノーマライゼーション ○ノーマライゼーションの考え方 (5) 虐待防止・身体拘束禁止 ○身体拘束禁止 ○高齢者虐待防止法 ○高齢者の養護者支援 (6) 個人の権利を守る制度の概要 ○個人情報保護法 ○成年後見制度 ○日常生活自立支援事業	(2)－①
	②自立に向けた介護	(1) 自立支援 ○自立・自律支援 ○残存能力の活用 ○動機の欲求 ○意欲を高める支援 ○個別性/個別ケア ○重度化防止 (2) 介護予防 ○介護予防の考え方	(2)－②
(3)介護の基本 (6時間)	①介護職の役割、専門性と多職種との連携	(1) 介護環境の特徴の理解 ○訪問介護と施設介護サービスの違い ○地域包括ケアの方向性 (2) 介護の専門性 ○重度化防止・遅延化の視点 ○利用者主体の支援姿勢 ○自立した生活を支えるための援助 ○根拠のある介護 ○チームケアの重要性 ○事業所内のチーム ○多職種から成るチーム (3) 介護に関する職種 ○異なる専門性を持つ多職種の理解 ○介護支援専門員 ○サービス提供責任者 ○看護師等とチームとなり利用者を支える意味 ○互いの専門職能力を活用した効果的なサービスの提供 ○チームケアにおける役割分担	(3)－①

科(科目)名	内 容	実施計画	科目番号
	②介護職の職業倫理	職業倫理 ○専門職の倫理の意義 ○介護の倫理(介護福祉士の倫理と介護福祉制度等) ○介護職としての社会的責任 ○プライバシーの保護・尊重	(3)-②
	③介護における安全の確保とリスクマネジメント	(1) 介護における安全の確保 ○事故に結びつく要因を探り対応していく技術 ○リスクとハザード (2) 事故予防、安全対策 ○リスクマネジメント ○分析の手法と視点 ○事故に至った経緯の報告(家族への報告、市町への報告等) ○情報の共有 (3) 感染対策 ○感染の原因と経路(感染源の排除、感染経路の遮断) ○「感染」に対する正しい知識	(3)-③
	④介護職の安全	介護職の心身の健康管理 ○介護職の健康管理が介護の質に影響 ○ストレスマネジメント ○腰痛の予防に関する知識 ○手洗い・うがいの励行 ○手洗いの基本 ○感染症対策	(3)-④
(4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (9時間)	①介護保険制度	(1) 介護保険制度創設の背景及び目的、動向 ○ケアマネジメント ○予防重視型システムへの転換 ○地域包括支援センターの設置 ○地域包括ケアシステムの推進 (2) 仕組みの基礎的理解 ○保険制度としての基本的仕組み ○介護給付と種類 ○予防給付 ○要介護認定の手順 (3) 制度を支える財源、組織、団体の機能と役割 ○財政負担 ○指定介護サービス事業者の指定	(4)-①
	②医療との連携とリハビリテーション	○医行為と介護 ○訪問介護 ○施設における看護と介護の役割・連携 ○リハビリテーションの理念	(4)-②
	③障害者総合支援制度およびその他制度	(1) 障害者福祉制度の理念 ○障害の概念 ○ICF(国際生活機能分類) (2) 障害者総合支援制度の仕組みの基礎的理解 ○介護給付・訓練等給付の申請から支給決定まで (3) 個人の権利を守る制度の概要 ○個人情報保護法 ○成年後見制度 ○日常生活自立支援事業	(4)-③

科(科目)名	内 容	実施計画	科目番号
(5)介護におけるコミュニケーション技術 (6時間)	①介護におけるコミュニケーション	(1) 介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割 ○相手のコミュニケーション能力に対する理解や配慮 ○傾聴 ○共感の応答 (2) コミュニケーションの技法、道具を用いた言語的コミュニケーション ○言語的コミュニケーションの特徴 ○非言語コミュニケーションの特徴 (3) 利用者・家族とのコミュニケーションの実際 ○利用者の思いを把握する ○意欲低下の要因を考える ○利用者の感情に共感する ○家族の心理的理解 ○家族へのいたわりと励まし ○信頼関係の形成 ○自分の価値観で家族の意向を判断し非難することがないようにする ○アセスメントの手法とニーズとデマンドの違い (4) 利用者の状況・状況に応じたコミュニケーション技術の実際 ○視力、聴力の障害に応じたコミュニケーション技術 ○失語症に応じたコミュニケーション技術 ○構音障害に応じたコミュニケーション技術 ○認知症に応じたコミュニケーション技術	(5)－①
	②介護におけるチームのコミュニケーション	(1) 記録における情報の共有化 ○介護における記録の意義・目的、利用者の状態を踏まえた観察と記録 ○介護に関する記録の種類 ○個別援助計画書(訪問・通所・入所・福祉用具貸与等) ○ヒヤリハット報告書 ○5W1H (2) 報告 ○報告の留意点 ○連絡の留意点 ○相談の留意点 (3) コミュニケーションを促す環境 ○会議 ○情報共有の場 ○役割の認識の場(利用者と頻回に接触する介護者に求められる観察眼) ○ケアカンファレンスの重要性	(5)－②
(6)老化の理解 (6時間)	①老化に伴うこころとからだの変化と日常	(1) 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 ○防衛反応(反射)の変化 ○喪失体験 (2) 老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響 ○身体的機能の変化と日常生活への影響 ○咀嚼機能の低下 ○筋・骨・関節の変化 ○体温維持機能の変化 ○精神的機能の変化と日常生活への影響	(6)－①

科(科目)名	内 容	実施計画	科目番号
	②高齢者と健康	(1) 高齢者の疾病と生活上の留意点 ○骨折 ○筋力の低下と動き・姿勢の変化 ○関節痛 (2) 高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点 ○循環器障害 (脳梗塞、脳出血、虚血性心疾患) ○循環器障害の危険因子と対策 ○老年期うつ病症状 (強い不安感、焦燥感を背景に、 「訴え」の多さが全面に出る、うつ病性仮性認知症) ○誤嚥性肺炎 ○病状の小さな変化に気付く視点 ○高齢者は感染症にかかりやすい	(6) - ②
(7) 認知症の理 解 (6 時間)	①認知症を取り巻く状況	認知症ケアの理念 ○パーソンセンタードケア ○認知症ケアの視点 (できることに着目する)	(7) - ①
	②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	認知症の概念、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント、健康管理 ○認知症の定義 ○もの忘れとの違い ○せん妄の症状 ○健康管理 (脱水・便秘・低栄養・低運動の防止、 口腔ケア) ○治療 ○薬物療法 ○認知症に使用される薬	(7) - ②
	③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	(1) 認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴 ○認知症の中核症状 ○認知症の行動・心理症状 (B P S D) ○不適切なケア ○生活環境で改善 (2) 認知症の利用者への対応 ○本人の気持ちを推察する ○プライドを傷つけない ○相手の世界に合わせる ○失敗しないような状況をつくる ○すべての援助行為がコミュニケーションであると考え ○身体を通じたコミュニケーション ○相手の様子・表情・視線・姿勢などから気持ちを洞察する ○認知症の進行に合わせたケア	(7) - ③
	④家族への支援	○認知症の受容過程での援助 ○介護負担の軽減 (レスパイトケア)	(7) - ④
(8) 障害の理解 (3 時間)	①障害の基礎的理解	(1) 障害の概念と I C F ○ I C F の分類と医学的分類 ○ I C F の考え方 (2) 障害者福祉の基本理念 ○ノーマライゼーションの概念	(8) - ①

科(科目)名	内 容	実施計画	科目番号
	②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	(1) 身体障害 ○視覚障害 ○聴覚、平衡障害 ○音声・言語・咀嚼障害 ○肢体不自由 ○内部障害 (2) 知的障害 ○知的障害 (3) 精神障害(高次脳機能障害・発達障害を含む) ○統合失調症・気分(感情障害)・依存症などの精神疾患 ○高次脳機能障害 ○広汎性発達障害・学習障害・注意欠陥多動性障害などの発達障害 (4) その他の心理の機能障害	(8)－②
	③家族の心理、かかわり支援の理解	家族への支援 ○障害の理解・障害の受容支援 ○介護負担の軽減	(8)－③
(9) ころとからだのしくみと生活支援技術 (76時間)	【ア 基本知識の学習(11時間)】		
	①介護の基本的な考え方	○倫理に基づく介護(ICFの視点に基づく生活支援、我流介護の排除) ○法的根拠に基づく介護	(9)－①
	②介護に関するころのしくみの基礎的理解	○学習と記憶の基礎知識 ○感情と意欲の基礎知識 ○自己概念と生きがい ○老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因 ○ころの持ち方が行動に与える影響 ○からだの状態がころに与える影響	(9)－②
	③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	○人体の各部の名称と動きに関する基礎知識 ○骨・関節・筋に関する基礎知識、ボディメカニクスの活用 ○中枢神経系と体性神経に関する基礎知識 ○自律神経と内部機関に関する基礎知識 ○ころとからだを一体的に捉える ○利用者の様子の普段との違いに気づく視点	(9)－③
	【イ 生活支援技術の講義・演習(51時間)】		
	④生活と家事	家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的知識と生活支援 ○生活歴 ○自立支援 ○予防的な対応 ○主体性・能動性を引き出す ○多様な生活習慣 ○価値観	(9)－④
⑤快適な居住環境整備と介護	快適な居住環境に関する基礎知識、高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法 ○家庭内に多い事故 ○バリアフリー ○住宅改修 ○福祉用具貸与	(9)－⑤	
⑥整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	整容に関する基礎知識、整容の支援技術 ○身体状況に合わせた衣服の選択、着脱 ○身じたく ○整容行動 ○洗面の意義・効果	(9)－⑥	

科(科目)名	内 容	実施計画	科目番号
	⑦移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	<p>移動・移乗に関する基礎知識、さまざまな移動・移乗に関する用具とその活用方法、利用者、介助者にとって負担の少ない移動・移乗を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法、移動と社会参加の留意点と支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用者介護者の双方が安全で安楽な方法 ○利用者の自然な動きの活用 ○残存能力の活用・自立支援 ○重心・重力の働きの理解 ○ボディメカニクスの基本原理 ○移乗介助の具体的な方法（車いすへの移乗の具体的な方法、全面介助でのベッド・車いす間の移乗、全面介助での車いす・洋式トイレ間の移乗） ○移動介助（車いす・歩行器・つえ等） ○褥瘡予防 <p>※ 高齢者に関する内容に特化せず、視覚障害者や肢体不自由者等の障害特性を踏まえた内容も併せて教授する。</p>	(9)－⑦
	⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	<p>食事にに関する基礎知識、食事環境の整備・食事に関連した用具・食器の活用方法と食事形態とからだのしくみ、楽しい食事を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法、食事と社会参加の留意点と支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食事をする意味 ○食事のケアに対する介護者の意識 ○低栄養の弊害 ○脱水の弊害 ○食事と姿勢 ○咀嚼・嚥下のメカニズム ○空腹感 ○満腹感 ○好み ○食事の環境整備（時間・場所等） ○食事に關した福祉用具の活用と介助方法 ○口腔ケアの定義 ○誤嚥性肺炎の予防 	(9)－⑧
	⑨入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	<p>入浴、清潔保持に関連した基礎知識、さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法、楽しい入浴を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○羞恥心や遠慮への配慮 ○体調の確認 ○全身清拭（身体状況の確認、室内環境の調整、使用物品の準備と使用方法、全身の拭き方、体の支え方） ○目・鼻腔・耳・爪の清潔方法 ○陰部清浄（臥床状態での方法）○足浴・手浴・洗髪 	(9)－⑨
	⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	<p>排泄に関する基礎知識、さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法、爽快な排泄を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○排泄とは ○身体面（生理面）での意味 ○心理面での意味 ○社会的な意味 ○プライド・羞恥心 ○プライバシーの確保 ○おむつは最後の手段／おむつ使用の弊害 ○排泄障害が日常生活上に及ぼす影響 ○排泄ケアを受けることで生じる心理的な負担・尊厳や生きる意欲との関連 ○一部介助を要する利用者のトイレ介助の具体的な方法 ○便秘の予防（水分の摂取量保持、食事内容の工夫／繊維質の食事を多く取り入れる、腹部マッサージ） 	(9)－⑩

科(科目)名	内 容	実施計画	科目番号
	⑪睡眠に関連した こころとからだ のしくみと自立 に向けた介護	睡眠に関する基礎知識、さまざまな睡眠環境と用具の活用 方法、快い睡眠を阻害するこころとからだの要因の理解と 支援方法 ○安眠のための介護の工夫 ○環境の整備(温度や湿度、光、音、よく眠るための 寝室) ○安楽な姿勢・褥瘡予防	(9)－⑪
	⑫死にゆく人に関 連したこころと からだのしくみ と終末期介護	終末期に関する基礎知識とこころとからだのしくみ、生か ら死への過程、「死」に向き合うこころの理解、苦痛の少 ない死への支援 ○終末期ケアとは ○高齢者の死に至る過程(高齢者の自然死(老衰)、 癌死) ○臨終が近づいたときの兆候と介護 ○介護従事者の基本的態度 ○多職種間の情報共有の必要性	(9)－⑫
※ 【イ 生活支援技術の学習】においては、総時間の概ね5～6割を技術演習にあてる こととし、その他の時間は、個々の技術に関連したこころとからだのしくみ等の根拠 の学習及び技術についての講義等に充てる。			
【ウ 生活支援技術演習(14時間)】			
	⑬介護過程の基礎 的理解	○介護過程の目的・意義・展開 ○介護過程とチームアプローチ	(9)－⑬
	⑭総合生活支援技 術演習	(事例による展開) 生活の各場面での介護については、ある状態像の利用者 を想定し、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の 習得、利用者の心身の状況にあわせた介護を提供する視点 の習得を目指す。 ○事例の提示→こころとからだの力が発揮できない要 因の分析→適切な支援技術の検討→支援技術演習→ 支援技術の課題(1事例1.5時間程度で上のサイクル を実施する) ○事例は、「高齢分野」(要支援2程度、認知症、片麻 痺、座位保持不可)から2事例を選択して実施。また、 2事例のうち、「障害分野」に関する事例を取り入れ ることも可能。	(9)－⑭
※ 本科目の6～11の内容においても、「14 総合生活支援技術演習」で選択する2事例と 同じ事例を共通して用い、その支援技術を適用する考え方の理解と技術の習得を促す。 ※ 本科目の6～11の内容における各技術の演習及び「14 総合生活支援技術演習」におい ては、一連の演習を通して受講者の技術度合いの評価(介護技術を適用する各手順の チェックリスト形式による確認等)を行う。			
(10)振り返り (4時間)	①振り返り	○研修を通して学んだこと ○今後継続して学ぶべきこと ○根拠に基づく介護についての要点(利用者の状態像に応 じた介護と介護過程、身体・心理・社会面を総合的に理 解するための知識の重要性、チームアプローチの重要性 等)	(10)－①
	②就業への備えと 研修修了後にお ける継続的な研 修	○継続的に学ぶべきこと ○研修終了後における継続的な研修について、具体的に イメージできるような事業所等における実例 (Off-JT, OJT)を紹介	(10)－②

(様式第 1 号別紙 1)

科(科目)名	内 容	実施計画	科目番号
その他	入校式	入校式	
	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none">・ (別紙) 学則等の説明、指導・ 自己紹介・ 訓練の心構えについてのガイダンス	
	実習オリエンテーション	実習に係る留意事項の説明	
	修了評価 (3 時間)	介護職員初任者研修課程全般にわたる理解度の修了評価	
	修了評価の補講 ・ 再修了評価	<ul style="list-style-type: none">・ 介護職員初任者研修課程全般にわたる補講・ 介護職員初任者研修課程全般にわたる理解度の再修了評価	

2019年度 六甲アイランド地域貢献事業「介護職員初任者研修」カリキュラム計画

①講義会場:RICグランクオーレ(座学) 科目名に★印はにじの家(演習実施のため)

②テキストは長寿社会「介護職員初任者研修テキスト 2訂」

敬称略

区分	日付	時間	通学	科目番号	内容	講師名	
講 義	10月5日(土)	9:30~12:30			・オリエンテーション 1. 9:30~10:00 法人挨拶(松井常務、松井施設長) 2. 10:00~10:40 事務局説明 ・事務局紹介 ・重要事項説明書(2部用意) ・全日程カリキュラムについて説明 ・その他 諸注意 ・受講生自己紹介 3.10:50~12:30 施設見学(六甲アイランド、にじの家、RICグランクオーレ)		
	10月5日(土)	13:30~16:30	3	(1)-①	多様なサービスの理解・介護職員初任者研修の位置づけ	松井あ・(松井常務)	
	10月12日(土)	9:30~12:30	3	(1)-②	介護職の仕事内容や働く現場の理解	梅林	
	10月12日(土)	13:30~16:30	3	(2)-①	人権と尊厳を支える介護	松井常務・(梅林)	
	10月19日(土)	9:30~12:30	3	(2)-①	人権と尊厳を支える介護	松井常務・(梅林)	
	10月19日(土)	13:30~16:30	3	(2)-②	自立に向けた介護	和田・(松井あ)	
	10月26日(土)	9:30~12:30	3	★(9)-⑪	睡眠に関連したところからだのしきみと自立に向けた介護	寺田・深草・山田	
	10月26日(土)	13:30~16:30	3	★(9)-⑪	睡眠に関連したところからだのしきみと自立に向けた介護		〃
	11月2日(土)	9:30~12:30	3	(3)-① ②	(3)-①介護職の役割、専門性と多職種との連携 (3)-②介護職の職業倫理	東中・(八木原)	
	11月2日(土)	13:30~16:30	3	(3)-③ ④	(3)-③介護における安全の確保とリスクマネジメント (3)-④介護職の安全	木戸・(角岡)	
	11月9日(土)	9:30~12:30	3	(4)-①	介護保険制度	八木原・(東中)	
	11月9日(土)	13:30~16:30	3	(4)-②	医療との連携とリハビリテーション	木戸	
	11月16日(土)	9:30~12:30	3	(5)-①	介護におけるコミュニケーション	千原・(米村)	
	11月16日(土)	13:30~16:30	3	(5)-②	介護におけるチームのコミュニケーション	仲尾・(浦川)	
	11月23日(土)	9:30~12:30	3	(6)-①	老化に伴うところからだの変化と日常	深草・(角岡)	
	11月23日(土)	13:30~16:30	3	(6)-②	高齢者と健康	木戸	
	11月 30日(土)	9:30~12:30	3	★(9)-⑥	整容に関連したところからだのしきみと自立に向けた介護	木戸・廣井・殿界	
	11月 30日(土)	13:30~16:30	3	★(9)-⑥	整容に関連したところからだのしきみと自立に向けた介護		〃
	12月 7日(土)	9:30~12:30	3	(7)-① ②	(7)-①認知症を取り巻く状況 (7)-②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	米村・(千原)	
	12月 7日(土)	13:30~16:30	3	(7)-③ ④	(7)-③認知症に伴うところからだの変化と日常生活 (7)-④家族への支援	樋川・(米村)	
	12月 14日(土)	9:30~12:30	3	(9)-①	介護の基本的な考え方	谷口・(千原)	
	12月 14日(土)	13:30~16:30	3	(9)-②	介護に関するところのしきみの基礎的理解	梅林・(角岡)	
	12月 21日(土)	9:30~12:30	3	★(9)-⑧	食事に関連したところからだのしきみと自立に向けた介護	丸山・天野	
	12月 21日(土)	13:30~16:30	3	★(9)-⑧	食事に関連したところからだのしきみと自立に向けた介護		西田・眞下
	1月 11日(土)	9:30~12:30	3	(9)-④	生活と家事	白井・(和泉)	
	1月 11日(土)	13:30~16:30	3	(9)-⑤	快適な居住環境整備と介護	白井・(和泉)	
	1月 18日(土)	9:30~15:30	5	(9)-③	介護に関するところのしきみの基礎的理解	角岡・(寺田)	
	1月 18日(土)	15:30~16:30			オリエンテーション(現場実習について)	丸山・(中川)	
	1月 25日(土)	9:30~12:30	3	★(9)-⑦	移動・移乗に関連したところからだのしきみと自立に向けた介護	寺田・深草・長谷	
	1月 25日(土)	13:30~16:30	3	★(9)-⑦	移動・移乗に関連したところからだのしきみと自立に向けた介護		〃
2月 1日(土)	9:30~12:30	3	★(9)-⑦	移動・移乗に関連したところからだのしきみと自立に向けた介護	寺田・川内・大森		
2月 1日(土)	13:30~16:30	3	★(9)-⑨	入浴、清潔保持に関連したところからだのしきみと自立に向けた介護		〃	
2月8日(土)	9:30~12:30	3	★(9)-⑨	入浴、清潔保持に関連したところからだのしきみと自立に向けた介護	寺田・白井・山田		
2月8日(土)	13:30~16:30	3	★(9)-⑨	入浴、清潔保持に関連したところからだのしきみと自立に向けた介護		〃	
2月15日(土)	9:30~12:30	3	★(9)-⑩	排泄に関連したところからだのしきみと自立に向けた介護	丸山・長谷・中川		
2月15日(土)	13:30~16:30	3	★(9)-⑩	排泄に関連したところからだのしきみと自立に向けた介護		〃	
2月22日(土)	9:30~12:30	3	(9)-⑫	死にゆく人のところからだのしきみと終末期介護	木戸		
2月22日(土)	13:30~16:30			生活支援技術のまとめ	木戸・寺田・丸山		
2月29日(土)	9:30~12:30	3	(8)-① ② ③	(8)-①障害の基礎的 (8)-②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、 かかわり支援等の基礎的知識 (8)-③家族の心理、かかわり支援の理解	大田・(立野)		
2月29日(土)	13:30~16:30	3	(4)-③	障害者総合支援制度およびその他制度	立野・(大田)		
3月7日(土)	9:30~14:30	4	(10)-① ②	(10)-①振り返り (10)-②就業への備えと研修終了後における継続的な研修	松井あ・角岡・(各部門長)		
3月7日(土)	15:00~16:30			終了評価テスト	松井あ・角岡・(各部門長)		
小計			117				
実 習	実習期間		通学	実習番号	実習先		
	1月25日~2月29日	実習振替	8	(9)-⑬ ⑭	①協同の苑六甲アイランド特養 ②協同の苑六甲アイランドデイサービス ③にじの家小規模多機能 ④にじの家特養 ⑤グループホーム ⑥認知症対応型デイサービス		
	1月25日~2月29日	実習振替	6				
	小計			14			
	修了評価(3月7日)			1		松井あ・角岡・(各部門長)	
補講日(日)							
合計			132				

実習プログラム

実施主体：社会福祉法人 協同の苑

実習実施期間：令和2年1月25日～令和2年2月29日

実施方法

1. 実習開始前までに「実習オリエンテーション」を実施し、実習施設と連携しながら、実習時の態度、服装、高齢者への接し方、言葉遣い及び人権面での配慮等の心がまえについて訓練生に指導を行うとともに、実習において知り得た個人の秘密についても、個人の権利利益を侵害することがないように訓練生に指導を行う。
2. 実習は、「(9) ところとからだのしくみと生活支援技術」内の「ウ生活支援技術演習」で下記内容の「介護実習」8時間、「在宅サービス提供現場見学」6時間を実施する。
3. 実習修了後、訓練生に各実習科目について「実習レポート」を提出させ、適切かつ効果的に行われたことを確認する。
4. 実習の修了評価については、各訓練生に提出させた「実習レポート」に基づき、経験目標を達成したかを確認することにより行う。
5. 訓練生がやむを得ない理由により実習を欠席した場合は、「介護員養成研修事業実習受入承諾書（様式1号別紙5）」の実習受け入れ予定期間を超えない範囲で実習日を再調整し、必ず補講を行う。

介護実習（8時間×1日）			
内容	<ul style="list-style-type: none">・オリエンテーション、施設見学、職員紹介、利用者への紹介・1日の生活と介護業務の流れを把握・医療器具、福祉用具の使用法、取扱いについての説明及び使用現場の見学・レクリエーション、グループ活動、行事、作業療法等に利用者とともに参加する。・補助業務（食事、入浴、排泄関連業務、環境整備等）・軽度者の食事・口腔ケア、衣類の着脱、排泄、入浴、移動・移乗等の介護を職員指導下で体験する。・申し送り参加・実習記録・実習反省会		
施設・事業種別	施設・事業所名	実習指導者名	実習者人数
介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム協同の苑 六甲アイランド	丸山 真実	3名～5名
地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	特別養護老人ホーム協同の苑 六甲アイランドにじの家	寺田 朋良	3名～5名
指定認知型対応型共同生活 介護	協同の苑六甲アイランド グループホーム	北 いさ	3名～5名

在宅サービス提供現場見学（6時間×1日）			
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ オリエンテーション、施設見学、職員紹介、利用者への紹介 ・ 1日の生活と介護業務の流れを把握 ・ 医療器具、福祉用具の使用方法、取扱いについての説明及び使用現場の見学 ・ 送迎業務を見学 ・ レクリエーション、グループ活動、行事、作業療法等に利用者とともに参加する。 ・ 補助業務（食事、入浴、排泄関連業務、環境整備等） ・ 軽度者の食事・口腔ケア、衣類の着脱、排泄、入浴、移動・移乗等の介護を職員指導下で体験する。 ・ 申し送り参加 ・ 実習記録 ・実習反省会 		
施設・事業種別	施設・事業所名	実習指導者名	実習者人数
指定通所介護事業所	協同の苑六甲アイランド デイサービス	千原 浩二	3名～5名
指定小規模多機能型居宅介護事業所	小規模多機能型居宅介護 協同の苑六甲アイランドにじの家	深草 望	3名～5名
指定認知症対応型通所介護事業所	協同の苑六甲アイランド 認知症対応型デイサービス	米村 美智子	3名～5名

情報の種類		内 容
研修機関情報	法人情報	<ul style="list-style-type: none"> ● 法人格・法人名称・住所等 社会福祉法人 協同の苑 〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中3丁目1番地2 ● 代表者名、研修事業担当理事・取締役名 代表者 理事長 四鬼 剛 研修事業担当常務理事 松井 克彦 ● 介護保険事業を実施している場合・事業概要 法人HPをご確認ください。 http://kyodo-no-sono.or.jp ● その他の事業概要 法人HPをご確認ください。 http://kyodo-no-sono.or.jp
	研修情報	<ul style="list-style-type: none"> ● 事務局事業所名称・住所等 社会福祉法人 協同の苑 〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中3丁目1番地2 ● 理念（学則に定める開講の目的） 別紙「学則」参照 ● 学則 別紙「学則」参照 ● 研修施設、設備 <ul style="list-style-type: none"> ・協同の苑 R I C グランクオーレ (住所：〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中3-2-2) ・協同の苑 六甲アイランドにじの家 (住所：〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中3-2-6) ● 研修施設の沿革 法人HPをご確認ください。 http://kyodo-no-sono.or.jp ● 研修施設事業所の組織、職員数等 法人HPをご確認ください。 http://kyodo-no-sono.or.jp ● 併設して介護保険事業を実施している場合・事業概要 法人HPをご確認ください。 http://kyodo-no-sono.or.jp
研修事業情報	研修の概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 対象 健康で神戸市東灘区向洋町周辺に在住している市民 ● 研修のスケジュール 令和元年10月 5日～令和2年3月 7日 132時間 ● 定員 10名 指導者数 32名 ● 研修受講までの流れ（募集、申し込み） 別紙「学則」参照 ● 費用 別紙「学則」参照 ● 留意事項、特徴、受講者へのメッセージ等 別紙「学則」参照
	課程編成責任者	<ul style="list-style-type: none"> ● 課程編成責任者名 社会福祉法人協同の苑 法人本部 研修担当 三宅 康平

	<p>研修カリキュラム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 科目別シラバス 別紙「介護職員初任者研修課程カリキュラム表」参照 ● 科目別担当講師名 別紙「担当講師一覧表」参照 ● 科目別特徴（演習の場合は、実技内容・備品、指導体制） 別紙「介護職員初任者研修課程カリキュラム表」参照
	<p>実習機関の情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 実習機関の名称・住所等 法人HPをご確認ください。 http://kyodo-no-sono.or.jp ● 実習機関の介護保険事業の概要 法人HPをご確認ください。 http://kyodo-no-sono.or.jp ● 実習施設の実習担当者名 別紙「実習プログラム」参照 ● 実習プログラムの内容、プログラムの特色 別紙「実習プログラム」参照 ● 実習中の指導体制・内容（振り返り・実習指導等） 別紙「実習プログラム」参照
	<p>修了評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 修了評価の方法、評価者、再履修等の基準 別紙「学則」「担当講師一覧表」参照
<p>講師情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 名前 別紙「担当講師一覧表」参照 ● 略歴、現職、資格 別紙「担当講師一覧表」参照 	
<p>実績情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ヘルパー 2 級 平成 1 5 年度 3 回実施 67 名参加 平成 1 6 年度 4 回実施 81 名参加 平成 2 4 年度 2 回実施 28 名参加 ● 初任者研修 平成 2 5 年度 1 回実施 12 名参加 平成 2 6 年度 3 回実施 51 名参加 平成 2 7 年度 2 回実施 36 名参加 平成 2 8 年度 1 回実施 19 名参加 	
<p>連絡先</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 申し込み・資料請求先 別紙「学則」参照 ● 法人の苦情対応者名・役職・連絡 別紙「学則」参照 ● 事業所の苦情対応者名・役職・連絡先 別紙「学則」参照 	

担当講師一覧表

実施主体：社会福祉法人 協同の苑

研修名：介護職員初任者研修コース（通学）

No.	講師氏名	科目番号	資格(取得年月日)	修了評価 担当の有無
			略歴(経験年数)	
			現在の職業(経験年数)	
76	松井 克彦	(1) -① (2) -①	介護福祉士 (H11 年/5 月) 社会福祉士 (H14 年/4 月) 生活協同組合コープこうべ ・地域担当、特養開設準備室 (8 年) 社会福祉法人 協同の苑 ・介護主任、施設長 (16 年) 社会福祉法人協同の苑 ・常務理事 (8 年)	無
77	松井 敦	(1) -① (2) -② (10) -① (10) -②	介護福祉士 (H5 年/10 月) 介護支援専門員 (H13 年/6 月) 特別養護老人ホーム ・介護職員 (4 年)、相談員 (2 年 5 か月) デイサービス ・相談員 (6 年) 特別養護老人ホーム ・施設長 (6 年 4 か月)	有
78	梅林 由紀	(1) -② (2) -① (9) -②	介護福祉士 (H11 年/5 月) 社会福祉士 (H8 年/4 月) 特別養護老人ホーム (通算 2 2 年) ・介護職員、相談員、介護支援専門員、 地域包括社会福祉士、在宅部門課長等、 サービス付き高齢者向け住宅 ・所長 (2 年)	有
79	和田 尚己	(2) -②	社会福祉士 (H22 年/3 月) 特別養護老人ホーム ・介護職、生活相談員 (10 年) ・副施設長 (2 年) 法人本部 ・人事総務課長 (7 年 3 か月)	無

(様式第 1 号別紙 2-1)

No.	講師氏名	科目番号	資格(取得年月日)	修了評価 担当の有無
			略歴(経験年数)	
			現在の職業(経験年数)	
80	寺田 朋良	(9) -③ (9) -⑦ (9) -⑨ (9) -⑪	介護福祉士 (H17 年/3 月)	有
			特別養護老人ホーム ・介護職員 (14 年)	
			特別養護老人ホーム ・介護職員 (12 年)	
81	深草 望	(6) -① (9) -⑦ (9) -⑪	介護福祉士 (H28 年/4 月)	有
			特別養護老人ホーム ・介護職員 (8 年)	
			小規模多機能 ・管理者 (1 年 6 か月)	
82	山田 菜月	(9) -⑨ (9) -⑪	社会福祉士 (H22 年/4 月) 介護福祉士 (H26 年/4 月)	無
			特別養護老人ホーム ・介護職員 (9 年)	
			特別養護老人ホーム ・介護職員 (同上)	
83	東中 静	(3) -① (3) -② (4) -①	介護福祉士 (H16 年/4) 社会福祉士 (H12 年/7) 主任介護支援専門員 (H26 年/11)	有
			特別養護老人ホーム ・介護職員 (3 年)、生活相談員 (2 年)、 ・施設介護支援専門員 (1 年)、管理者兼介護支援専門員 (2 年)	
			地域包括支援センター ・社会福祉士 (2 年)、	
			あんしんすこやかセンター ・管理者兼主任介護支援専門員 (4 年 6 か月)	

(様式第 1 号別紙 2-1)

No.	講師氏名	科目番号	資格(取得年月日)	修了評価 担当の有無
			略歴(経験年数)	
			現在の職業(経験年数)	
84	八木原 愛	(3) -① (3) -② (4) -①	介護福祉士 (H16 年/5 月) 介護支援専門員 (H18 年/7 月) 特別養護老人ホーム ・介護職員 (7 年) ・介護支援専門員 (7 年) 居宅介護支援センター ・介護支援専門員 (5 年 10 か月)	有
85	木戸 壮	(3) -③ (3) -④ (4) -② (6) -② (9) -⑥ (9) -⑫	介護福祉士 (H18 年/3 月) 特別養護老人ホーム ・介護職員 (8 年) ・相談員 (3 年) 特別養護老人ホーム ・管理職 (係長) 1 年	有
86	角岡 弘子	(3) -③ (3) -④ (6) -① (9) -② (9) -③ (10) -① (10) -②	介護福祉士 (H17 年/4) 特別養護老人ホーム ・介護職 (8 年) 特別養護老人ホーム ・介護主任、施設ケアマネジャー (6 年) 法人本部 ・教育担当 (4 年)	有
87	千原 浩二	(5) -① (7) -① (7) -② (9) -①	介護福祉士 (H11 年/4) 特別養護老人ホーム ・介護職 (5 年) 小規模多機能 ・管理者 (7 年) デイサービス ・主任 (2 年) デイサービス ・主任相談員 (3 か月)	有

(様式第 1 号別紙 2-1)

No.	講師氏名	科目番号	資格(取得年月日)	修了評価 担当の有無
			略歴(経験年数)	
			現在の職業(経験年数)	
88	米村 美智子	(5) -① (7) -① (7) -② (7) -③ (7) -④	介護福祉士 (H22 年/4 月) ケアセンター ・訪問介護員 (4 ヶ月) 訪問介護 ・訪問介護員、サービス提供責任者、管理者等 (5 年6 か月) 社会福祉協議会 ・デイサービス相談員 (5 年) 認知症対応型デイサービス ・管理者兼相談員 (2 年4 ヶ月)	有
89	仲尾 亜希子	(5) -②	介護福祉士 (H22 年/3 月) 介護支援専門員 (H28 年/1 1 月) 特別養護老人ホーム ・介護職員 (6 年8 か月) 特別養護老人ホーム ・相談員 (2 年8 か月)	無
90	浦川 智也	(5) -②	介護福祉士 (H21 年/5 月) 介護支援専門員 (H22 年/5 月) 特別養護老人ホーム ・介護職員 (6 年6 か月) 特別養護老人ホーム ・相談員 (10 年)	無
91	北 いさ	(7) -③ (7) -④	介護福祉士 (H8 年/4 月) 特別養護老人ホーム (通算 22 年) ・介護士、 ・デイ相談員、 ・施設介護支援専門員 グループホーム ・グループホーム管理者 (1 年)	無

(様式第 1 号別紙 2-1)

No.	講師氏名	科目番号	資格(取得年月日)	修了評価 担当の有無
			略歴(経験年数)	
			現在の職業(経験年数)	
92	廣井 那実	(9) -⑥	介護福祉士 (H28 年/4 月)	無
			特別養護老人ホーム ・介護職員 (7 年)	
			特別養護老人ホーム ・介護職員 (同上)	
93	殿界 邦夫	(9) -⑥	介護福祉士 (H14 年4 月)	無
			特別養護老人ホーム ・介護職員 (10 年)	
			特別養護老人ホーム ・介護職員、介護支援専門員 (7 年)	
94	谷口 道子	(9) -①	介護福祉士 (H28 年/4 月)	無
			デイサービス ・ヘルパー (6 年)	
			デイサービス ・相談員 (1 年)	
95	丸山 真実	(9) -⑧	介護福祉士 (H25 年/1 1 月)	有
			特別養護老人ホーム ・介護職員 (10 年)	
		(9) -⑩	特別養護老人ホーム ・介護職員 (同上)	

(様式第 1 号別紙 2-1)

No.	講師氏名	科目番号	資格(取得年月日)	修了評価 担当の有無
			略歴(経験年数)	
			現在の職業(経験年数)	
96	天野 多美	(9) -⑧	管理栄養士 (昭和59年/3月)	無
			特別養護老人ホーム ・管理栄養士 (22年)	
			特別養護老人ホーム ・管理栄養士 (同上)	
97	西田 なつみ	(9) -⑧	介護福祉士 (H28年/5月)	無
			特別養護老人ホーム ・介護職員 (6年)	
			特別養護老人ホーム ・介護リーダー (1年10か月)	
98	眞下 浩美	(9) -⑧	管理栄養士 (H2年/10月)	無
			特別養護老人ホーム ・栄養士 (20年)	
			特別養護老人ホーム ・栄養士 (同上)	
				無

(様式第 1 号別紙 2-1)

No.	講師氏名	科目番号	資格(取得年月日)	修了評価 担当の有無
			略歴(経験年数)	
			現在の職業(経験年数)	
99	白井 奈穂子	(9) -④ (9) -⑤ (9) -⑨	介護福祉士 (H25年/7月) 特別養護老人ホーム ・介護職員 (7年) 訪問介護 ・訪問介護員 (1年5か月) 訪問介護 ・訪問介護員 (2年7か月)	有
100	和泉 順子	(9) -④ (9) -⑤	介護福祉士 (H26年/12月) ケアセンター ・訪問介護員 (3年) 訪問介護 ・訪問介護員 (2年2か月)	無
101	中川 千広	(9) -⑩	介護福祉士 (H25年/4月) 特別養護老人ホーム 介護職員 (10年) 特別養護老人ホーム ・介護リーダー	無
102	長谷 建佑	(9) -⑦ (9) -⑩	介護福祉士 (H28年/4月) 特別養護老人ホーム ・介護職員 (7年) 特別養護老人ホーム ・介護職員 (同上)	無

(様式第 1 号別紙 2-1)

No.	講師氏名	科目番号	資格(取得年月日)	修了評価 担当の有無
			略歴(経験年数)	
			現在の職業(経験年数)	
103	川内 結	(9) -⑦ (9) -⑨	介護福祉士 (H25年/6月)	無
			特別養護老人ホーム ・介護職員 (7年)	
			特別養護老人ホーム ・介護職員 (2年)	
104	大森 まゆみ	(9) -⑦ (9) -⑨	介護福祉士 (H27年/3月)	無
			特別養護老人ホーム ・介護職員 (2年8か月)	
			小規模多機能 ・介護職員 (5年7か月)	
105	大田 晋平	(8) -① (8) -② (8) -③ (4) -③	介護福祉士 (H26/4)	有
			生活介護施設、就労継続支援B型 ・生活支援員 (9年)	
			生活介護施設 ・管理者、サービス管理責任者 (4年)	
			法人本部 ・採用、教育、広報担当 (1年)	
106	立野 普巳子	(8) -① (8) -② (8) -③ (4) -③	介護福祉士 (H12年/5月)	有
			特別養護老人ホーム ・介護職員 (7年5か月)	
			障害者通所授産施設 ・生活支援員 (1年)	
			障害者通所授産施設 ・生活支援員、管理者 (14年)	